

水の恵みをありがとう！森に恩返し活動

い つの時代も、私たちの暮らしに恵みを与えてくれる、森と水。北陸電力グループでは、その恵みに感謝するため、2008年から北陸三県の各地でボランティアによる森林保全活動に取り組んでいます。今年度も、グループ従業員とその家族合わせて約640人が

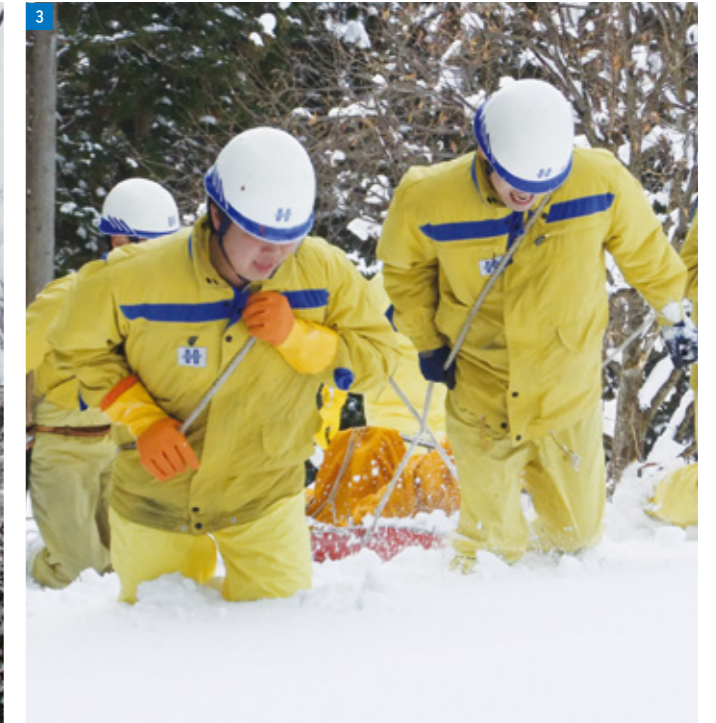
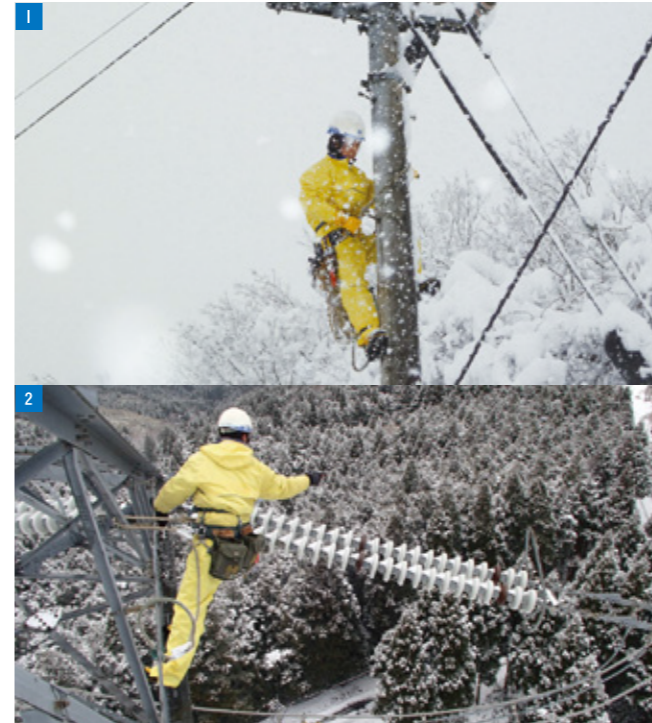
参加し、植樹や下草刈りなどを行いました。また、下草刈りや伐採などで回収した木の一部は、木質バイオマス発電の燃料として有効利用しています。これからも森林に感謝の気持ちを込めて、この活動に取り組んでまいります。



厳冬期にも安定した電気を守り抜く

冬 期には、北陸地域ならではの仕事があります。それは、雪による事故に備えた対応です。北陸特有の水分を多く含んだ重たい雪は、安定した電気のお届けに大きく影響を与えます。重たい雪に樹木が耐えられず、枝や幹から折れてしまうことがあり、これらが電線に触れると、停電の原因

となってしまいます。こういった停電などを未然に防ぐための巡視や、また、万が一起こってしまった場合は一刻も早く復旧できるよう、私たち北陸電力の各事業所では毎年、雪の中での訓練に取り組んでいます。

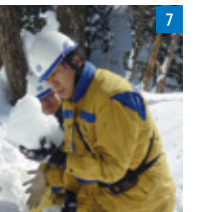


①② 鉄塔や電柱に昇る訓練では、足場が凍って滑りやすく、また冷たい風雪が容赦なく全身に突き刺さることもある。かじかんで手足が思うように動かない中でも、一步一步、一作業一作業を丁寧に進める。

③ 作業に必要な工具などは重さ約100kgになることもあり、スノーポートなどを使って数人がかりで運ぶ。



⑥ 倒れた木が電線にかかってしまうことを想定し、足場の悪い中での伐採作業に臨む。



⑦ 山間部は、雪崩の危険と隣り合わせだ。訓練では地形や雪の硬さなどから雪崩の可能性を予測する方法などを学ぶ。

④⑤ 車の入れない場所では、かんじきやスノーシューを履いて雪の上を歩く訓練をする。ときには、腰近くまで積もった新雪の中を進み、現場を目指す。

他にも当社ホームページでは、電気を安定してお届けするための取組みを動画などで紹介しています。 [北陸電力 灯りの向こう](#) [検索](#)